

# 国際交流

## 学生活動支援助成

意欲ある学生をバックアップ

### 語学検定料補助

2008年度に語学検定料に対する補助金をスタートしてから、毎年TOEICや英検を中心に、より高いレベルの語学検定を目指す学生に対して、検定料を補助しています。継続的に英語学習に取り組むことで、着実な成果が出ていますので、後援会では引き続き学生の語学学習を支援していきます。

### 海外研修・調査奨励金制度

学生自らが企画した海外研修・卒論執筆に向けた調査を対象として、学生の海外における活動を経済面からバックアップしています。申請者には書類審査、面接等を実施し、採用が決定した学生には、必要となる渡航費用や授業料等を援助しています。

### ゼミ研修体験記

研修期間 > 2017年8月23日～9月2日  
 研修先 > フィンランド  
 研修テーマ > 北欧建築巡礼

世界的に有名なフィンランドの建築家アルヴァ・アールの建築物を見て、触って、感じることを主な目的としたゼミ研修に参加しました。建築物の情報を細かく調べてから渡航したのですが、現地での迫力や感動は別物でした。実際に素材を触ってみたり、その建物を利用している方々の表情や様子も見るので、体感することの大切さを改めて感じました。また、日本で言う別荘にあたる「サマーハウス」に4日間泊まり込み、グループに分かれて木造建築の実測調査も行いました。これはアール大学の学生が学んでいるプログラムと同じもので、日本と違って壁に隙間があったり、柱の位置が不均等だったり予想外のことが多く、その中で一つひとつ丁寧に正確な寸法を取ることに苦労しました。実測後の図面作成でも、日本で使用する道具なしでの作業だったので学ぶことが多かったです。これらの体験で得たモノをしっかりと自分の中に落とし込み、今後の設計に活かしていきたいと思えます。



つかだ ゆうや  
塚田 佑弥さん

健康科学部 福祉工学科  
 バリアフリーデザイン専修3年  
 愛知県 / 日本福祉大学付属高校出身

いぎ あきひろ  
井垣 暁太さん

健康科学部 福祉工学科  
 バリアフリーデザイン専修3年  
 愛知県 / 丹羽高校出身

#3 Seinäjoki

#4 Vantaa

#1, #2 Helsinki



#1 アルヴァ・アールが40年にわたって暮らした自宅。いかに自然と共生して暮らすかがテーマであり、随所に風や光、音が感じられる設計でした。



#2 ショッピングモールの中に佇む「カンピ礼拝堂」。もみの木だけで作られている温かみのある建物で、内部は静寂が漂い、心落ち着く空間でした。



#3 多くの来館者が訪れる「アピラ市立図書館」。図書館で過ごす時間が長いフィンランドだけに、カフェが併設されていたり、子どもが喜ぶ仕掛けも満載。



#4 横からの光が特長的な「ミュールマキ教会」。建築家でありながら音楽家でもあるユハ・レイヴィスカの設計で、光や照明にもリズムが感じられました。